

この留学 NEWSLETTER を通して  
是非、留学している学生の生の声を  
聞いてみてください!

## 2009年度 帰国後レポート！第2弾！

今回の留学 NEWSLETTER では、2009 年度〈後期・通年〉留学生の留学報告会での様子と、2010 年度〈前期・通年〉留学生の「留学の目標」についてお伝えしようと思います。

2010 年 1 月 26 日までに帰国した、2009 年度〈後期・通年〉の留学生 26 名の内、25 名が出席し、午前の部・午後の部に分かれ、1 人 10 分程度、留學生活について発表しました。

特に午前の部では、英語で学生が質問し、発表者が英語で答えるなど、英語力の成果を目の当たりにすることができ、とても有意義な報告会となりました！

今回は、「あなたにとって留学とはどんなものだったか。」また、「留学前に立てた目標の達成度と、留学後のこれからの目標」などについて、「帰国後アンケート」より抜粋して掲載したいと思います。

自分のあらゆる限界を超えていく機会、そして視野を広げる機会。

今回の留学で、自分はまだまだ色々なことができて、挑戦することができるんだと気付きました。さらに、他国人（アメリカ人に限らず）と話すことで、色々な価値観を知ることができました。そのおかげで自分の視野が広がったと思います。

色々な経験をして、たくさんの国の友達ができ、成長できたと思います。初めは何もかもわからない事だらけだったけど、現地の人たちは本当に優しく、親切で色々なところで助けてくれました。ただ、何かあったら全て自分で行動しなくてはいけないので、大変な事もありましたが、それだけ自分に責任感を持つようになったと思うし、以前より自立したと思います。

言葉にできない思い出がたくさんあります。留学は私にとって初体験だった（というより海外に行くことが初体験でした）ので、色々な新しいことが起き、なんだかんだ楽しかったです。

留学して英語を流暢に話せるようになると願っていましたが、現実はそのいきませんでした。英語の聞き取りは慣れましたが目標達成度は約 30% ということなんです。でも、友達を作るという目標は 150% 達成できました。

英語を勉強するのはもちろん、他の国の友人と知り合い、異文化と対面して成長していく。時間は長いとは言えないけど、どれだけやる気になれるか。

言葉にできないくらい、素晴らしい経験でした。

目標以上に得たものがあつたので目標達成度 120% です。今後は、いかに英語をモチベーションを保ちキープしていき、海外や異文化との関わりを持てるか。自分に正直になる。負けないこと。満足しない、期待しない。

英語の勉強よりも人生の勉強でした。色々な人がいるなって思いました。海外の良さの他にも、日本って良いなって思う事も多々ありました。

目標達成度は 50% くらい。これからの目標は、この留学の経験をムダにしないこと。

留学は、誰も知らない土地に 1 人で行くのは怖いし、大変だと思ふし、不安だらけだけど、絶対に行った方が良いと思います。すごく良い経験になりました。まず、日本では実家暮らしだったため、料理、洗濯、掃除など、全ての事を 1 人でやらなくてははけなかつたので、すごく自立しました。約 3 ヶ月間は、なかなか現地の人と友達になれなかつたのですが、1 人で始めると、それからはずいぶん友達の輪が広がり、あの時、あの場所に行っていなかつたら、この人とは出会っていなかつたかなと思うことがたくさんあり、一つの出逢いって大切なんだなということに気付きました。

2 つ目の寮では、ルームメイトが最悪で、目の前で悪口を言われたり、ひどかったのですが、友達みんなが助けてくれました。色々辛いことや、悩まされる事もあつたけれど、どれも今となっては良い経験です。留学は、自分が想像していたよりも遥かに自分にとって素晴らしい経験になりました。



色んなことに驚かされました。そして、人生経験の一つとして行って良かったと考えています。私は日本を一度も離れたことが無かったので、色々不安なこともあったりしました。留学中はホームシックになったり、ネイティブの英語は聞き取りにくかったりで、色々な困難がありましたが、少しずつ慣れていく事ができるのだということを実感できました。留学に行ったことは、少なからず今後の私に自信を与えてくれるでしょう。

寮生活だったので、1人で全てやらなくてはならないため、学校との両立が大変でしたが、色々な人と出会い、一緒に学ぶことで、自分の努力がまだまだ足りないのだなと実感させられるものでした。勉強すればその分結果がついてきて、またその反対もあるので、気を抜けば周りの仲間についていけないという不安もありましたが、お互いにモチベーションを上げようと一緒に勉強し、仲間の集中力、勉強に対する意気込みに圧倒され、自分もやらなければと強く思わせられました。悔しい思いや、嬉しい思いもたくさんしましたが、すごく良い経験になりました。

勉強もそうですが、私の場合は、内面の部分でとても成長することができたと思います。1人暮らしというのが初めてだったことや、新しい環境、異文化の環境でとても考えることが多かったし、たくさん壁にもぶち当たりました。今まで生きてきた中で、一番悩んだのも、一番泣いたのも、この留学生活でした。でも、この留学生活の中で、本当に異文化を理解するのはどういうことなのかを知ることができたように思います。とても辛く、とても大変だったけど、この1年間で経験したことと、出会った人たちは私の大切な宝物です。

人種や言語を越えて、ESLでは英語を学ぼうとする人達や、同じ寮に住む人達、また知らない人と、年上、年下関係なく英語でコミュニケーションをとることができたので、留学に行く前と後では、人との接し方を変えることができて嬉しかった。言いたいことが伝わらないこともあったが、一生懸命伝えようとすれば伝わるのだということが分かり自信になった。

モンタナの人はみんな優しくフレンドリーなので、あまり英語が話せなくても、一生懸命つきあってくれるし、話しているだけでも良い勉強になりました。この留学で、自分が成長できた。何よりも授業に対する取り組みの姿勢や考え方が変わりました。また、自分の将来に対する考え方もしっかり考えられるようになったと思います。

この留学は、自分が変わる良い機会でした。今までは何事にももたらけた生活を送っていましたが、留学に行って、全く知らない新しい世界で過ごすことによって、自分なりに規則正しい生活を送れました。また、名前も知らなかったような国の人も出会い、たくさんの文化も学びました。これからの目標は、モンタナに行って前よりもずっと英語が好きになったので、もっともっと勉強することです。

ホストファーザー・マザーがとても優しく、Homeworkがあるときは教えてくれました。そのおかげで発音のテストで良い点を取ることができました。また、子供が2人いる家庭だったので、一緒に遊んでいたら、子供が使う英語を聞くことができ、本当に楽しかった。どんなものにも替えられない経験になったと思います。これからの目標は「やりたい」と思ったらやるということです。

留学は、海外の地で出会った友達と様々な文化を交換し合うことができ、行った国以外の文化も同時に学ぶことができる最高の時間でした。また、自分が限られた期間でどこまで達成できるかを試した挑戦みたいなものだったと思います。

留学は語学を学ぶだけではなく、自分自身を磨くものであった。例えば、本当に分からないことだらけで不安でいっぱいだった時、逃げようとしたこともあるが、何とか自分で解決しようと思い、必死で解決策を探したりして精神を磨くことができた気がする。昔の自分だったら、ほとんど人任せで自分で解決しようとはしなかった。

たくさんのかげがえのない人と出会えた。勉強より、人との出会いが一番自分にとって大きかった。一生の友達といえるくらいの外国の友達ができただけがとても嬉しかった。最初は不安だったけど、行ってしまえば何とかかなるし楽しい。行って良かった。

過去に1度オーストラリアに留学に行っていたので、不安はなく意外と楽に感じました。しかし、自分の中では良くやったと思っていましたが、今思うとまだまだだったかもしれないと思います。少し上が見えると、もっと上に行きたくなるので、いつまでたってもまだまだかもしれません。



私は英語が得意な方ではなく「なんとかなる」で行きましたが、実際ある程度の英語力が付けば、そこまで不自由だと感じなくなってしまいます。常に向上心を持って、初心を忘れることなく1年間を過ごすことは難しいけれど、留学をして思ったことは、「全部自分次第だな」ということ。留学において勉強は、とても重要なことだと思いますが、学校と自分の部屋の行き来で、机に向かってばかりではもったいないです。私が、これから留学に行く人達に伝えたいのは、人と触れ、何でもやってみる、行動してみることが大事だということです。興味がなくても、好きじゃなくても、美味しくなさそうでも、みんながやっていることをしてみる、やってみる、食べてみる。それが実際自分に合わなかったとしても、とても面白い経験になると思いますよ！異文化に触れることは、留学でしか味わえません！是非、色んな人とからんで、色んなグループ、行事に参加してみてください。私は必ず「なぜ留学に来たのか」「将来何になりたいか」「留学してどうだったか」をみんなに聞きました。日本人を含め、世界には色んな人がいます。人の数だけ考え方があります。私は、より視野が広くなり、心が大きくなったと思います。

私にとって留学とは、交流が必要不可欠なものでした。私の行ったリーズ大学では、様々な国からの留学生が集まっており、単純にイギリスに行ったからイギリスの文化を学ぶというだけでなく、イタリア、フランス、スウェーデン、中国、韓国など多くの国の文化を学べました。しかし、それらの国の人と交流するには自ら何か団体に参加したりしないと交流はできません。留学とは、異文化交流だとよく言いますが、その異文化交流をするためには、自分から積極的に動く必要があり、自分から動かない限り、交流はできるものではありません。よって留学とは交流をするものだとおもいました。

強く感じたことは、お金のこと。やはりただで行くわけではないので、授業に積極的に参加するべきだと思う。日本では味わえない、英語を使わなくては生きていくことも難しいという体験と、外国から見る日本がどう見えるのか、その国の文化をいやでも知ることができる。また、自分がどういう人間なのか、何をしたいのか。本当に大切なものは何か。とにかく、新しく知ることが多くて、楽しいと同時に自分の無知さをも知ることができる。20歳というこの時に行けたことで、自分が本当に何を欲しているか、何が必要なのかを確認することが多かった。約3ヶ月という短い期間だったけれど、だからこそ出来たこともあったと思う。留学に行って変わったこともあるし、変わらなかった（変えなかった）こともある。出来ること、出来ないこと。すること、しないこと。やりたいこと、やりたくないこと。

自分の人生を変える体験でした。言葉の大切さを学ぶと同時に、人と人が触れ合うことの大切さを感じる体験だった。

留学中は気付けなかったのですが、日本に帰って来た時に、変わった自分を自分自身で感じられた。今まで見ていた物事などの吸収力が2倍も3倍も上がっていた。また、1日1日の時間を大切に感じられるようになり、毎日が今まで以上に楽しくなった。

ただ英語を学んだということではなく、様々なことに関して自信を持つことができたようになったものでした。ロンドンでは知らない人ばかりだったので、学校の先生や友達と話すだけでも自信になりますし、スタジアムへサッカーを観に行ったら際に、知らない人にしゃべりかけられても英語で返せるというのは、私にとって非常に自信になったと思います。また、些細なことからことから、歴史的なものまで、多くの文化に触れることができたことも、これからの人生を過ごしていく上で重要になっていくものだと思います。

自分の価値観を大きく広げることができた9ヶ月でした。多くのことを知り、どう過ごせばもっと良い自分に会えるのか、もっと成長できるのかを知り、自分で考えるようになりました。自分を大きく変えるきっかけになりました。私はアイルランドに行き、日本人が少なかったため、自分でどうにかしてでも乗り越えなくてはならないこともありました。今思うと、そういったことが成長する？となってくれたのだと思います。

留學生活を振り返ってみると、私は少し内向的な性格で、自分なりに頑張ったつもりですが、やっぱりなかなか積極的に行動できませんでした。でも今思えば、嬉しかったことや辛かったことも含めてとても良い経験になりました。中国で外国の友達と一緒に中国語を勉強したり、中国の友達と一緒に遊んだ日々は、一生忘れることのできない思い出になりました。一年間あまりの留學生活を通して、少しは成長できたかなと思います。今後はせつかく大事なお金を使って一年間留學したので、この時に学んだ中国語や知識を忘れないように、持続的に勉強するつもりです。また、中国に行つて改めて英語の重要性が分かったので、これから英語も勉強したいと思いません。



